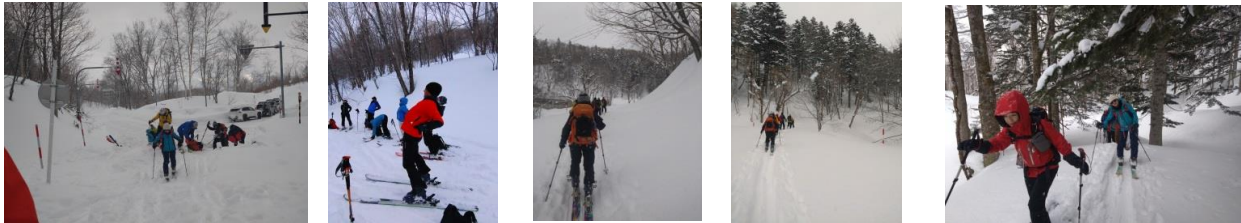


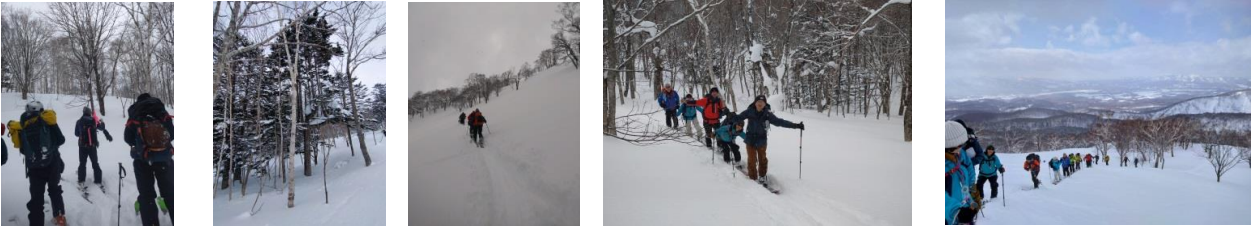
2025/2/24 奥ニセコエリア秘密の山にて：パウダー滑走

L:F木、A-L:N田、O内、S井、Y樫、W林、T内、Y中、O田、B-L:S田、M江、U田、U山、S山、O川、SG田、16名
天候：風：曇り時々小雪のち晴れ、風穏やか、気温：-5～10℃位
6:30 伊達出発→8:45 P出発→9:20 林道交差→10:40 C615休憩→11:32 山頂着・滑走準備
11:52 滑走開始→12:07 C615にて露天昼食→12:34 下山開始→13:15 P着
登り 2時間45分 距離 6.7Km 標高差 543m

スキーシーズンも中盤を過ぎ、今シーズンのハイライト3連休、連日スキーにいそしむ当会会員は元気いっぱい。昨年この時期にここを訪れました。「あの極上パウダーが忘れられない！」「夢よう一度！」と再訪しました。前日は白樺山で今季最高のパウダーを堪能し、期待は膨らむばかり、さて結果はいかに？



除雪終点から出発、U山さんの見事な腰反り(若さを誇示?)道道をしばらく行き沢沿いに松の廊下へ入る。狭くて急で凸凹、下りの最後の難所



要所要所でルート確認、何本にも枝分かれたトドマツ、急登のトラバースでちょっとひやひや、賑やかなB班、眼下に蘭越の街と幌別岳方面



昨年とほぼ同じトレースをたどり目指す尾根の直下に到着。右から緩くトラバースしてC615へ上がる。一気に展望が開け、目国内岳が見える。この頃から天気よくなり青空になる。山頂からはシャクナゲ・チセの真っ白な山頂がすぐ目の前に。大展望に歓声があがる。その後はお楽しみの滑走。斜度良し、適度な疎林、雪良し、視界良好、好条件が揃い今シーズン屈指の1本。疾走する人跳ねる人転ぶ人、皆大満足。風弱く昼食も眺望楽しむ。



楽しく滑った痕跡、遠くなってしまった目国内、雪と遊ぶO氏



昨年同様、大いに楽しみました。来年もまた、この時期に訪れましょう。そしていつかはシャクナゲまで行ってみたいな～。F木Lに感謝。この日は我々だけの貸し切りでした。いつまでも静かな山でありますように。

O田記 写真提供 U田、U山、W林氏